

## 作成上の注意事項（令和5年度）

◆ 書類は全て所定の様式で作成し、電子データで提出してください。

◆ 研究科教員候補者推薦名簿

- ・ 年月日は西暦で記載してください。
- ・ 氏名にはふりがなをつけてください。
- ・ 所属は、大学名と「学部名」、「〇〇学域〇〇学系」、「学部附属施設名」、「大学共同教育研究施設等名」等を記載願います。「学部附属施設」の場合は、〇〇大学〇〇学部附属〇〇と記載してください。
- ・ 連合農学研究科の専攻名・連合講座名は、下表から資格申請をする専攻名・連合講座名を記載してください。

専攻名	連合講座名
生物生産科学	熱帯資源・植物生産科学 動物資源生産科学 地域・国際資源経済学
応用生命科学	生物機能化学 食品機能科学 先端応用生命科学
農水圏資源環境科学	生物環境保全科学 地域資源環境工学 水産資源環境科学

- ・ 「最近5年間の論文等の数」欄の「最近5年間」は、**2018年7月から2023年6月発行分まで**です。（受理や印刷中は不可）
- ・ 「I」には論文Iの数を記載してください。加えて、准教授及び講師の主指導教員資格申請の場合は、（ ）で英文の論文の内数を記載してください。
- ・ Full paper 以外の論文を論文Iとして提出する場合は「論文Iに相当する理由書（様式任意）」を論文ごとに添付してください。なお、Full paper 以外の論文は、主指導教員資格にあつては3編まで、副指導教員資格にあつては2編までです。（後述の「学術論文に短報などの Full paper 以外の論文を含む場合の取り扱い」を参照ください。）
- ・ 「第一著者又はコレスポンディング・オーサーの論文I」には、「論文Iに相当する理由書」がついているものを含みます。

◆ 推薦書（別記様式第1号）

- ・ 「1 職・氏名等」の「所属」は『研究科教員候補者推薦名簿』の「所属」と一致します。
- ・ 「2 連合農学研究科教員となった場合の専攻・連合講座等」は『研究科教員候補者推薦名簿』の「専攻名、連合講座名、専門分野名」と一致します。

#### ◆ 履歴書（別記様式第2号）

- ・ A4用紙1枚で作成してください。
- ・ 年号はすべて西暦表記で記載願います。
- ・ 「所属学会名」、「学会等における活動等」、「公募研究費の受給状況等」、「賞罰」に該当がない場合は、「無し」と記載してください。

#### ◆ 教育研究業績書（別記様式第3号）

- ・ 「論文 I」、「著書（社会科学系において、論文 I に相当する著書）」に分けて記載してください。
  - ・ 業績は古い順に記載してください。
  - ・ 業績は資格審査に必要な主要なものを記載することとし、資格審査判定基準数に加えて10編までを上限（主指導教員30編、副指導教員22編）とします。
  - ・ コレスポンディング・オーサーの場合はその旨記載してください（ファーストオーサーかつコレスポンディング・オーサーの場合は記載不要。記入例参照。）
  - ・ 論文と論文の間（又は著書と著書の間）は1行のスペースを空けてください。
  - ・ 「論文 I」及び「著書」の使用言語は社会科学系の外国人教員を除き、日本語又は英語のみとします。
  - ・ いずれの業績も、別刷をPDFで提出してください。
  - ・ 単行本形式のもの等、PDFでの提出が難しい場合は紙媒体を提出してください。
  - ・ PDFのファイル名は、教育研究業績書に記載する順番に番号をふってください。
- 「論文 I」（「論文 I」に扱う社会科学系「個別報告論文」を含む。）の記載等について
- ・ 「論文 I」とは次の A~D の学術雑誌に掲載された Full paper の査読付き原著論文とし、指定以外の国際会議等の Proceedings は含みません。
  - ・ A, B, C, D の順で確認し、該当するいずれかのアルファベットを、雑誌名の最後に（ ）書きで記載してください。
- A : Clarivate Analytics の InCites Journal Citation Reports のリストに掲載されているインパクトファクター付き学術雑誌
- B : 日本学術会議協力学術研究団体が発行する学術雑誌
- C : PMC に掲載されている学術雑誌
- D : その他（代議委員会で承認された学会誌） H26.10.1 現在
- 「環境毒性学会誌（出版学会：日本環境毒性学会）」
- 「北日本漁業（出版学会：北日本漁業経済学会）」
- 社会科学系で掲載論文を論文 I にカウントする対象雑誌
- 『日本の農業』（農政調査委員会）
- 『東畑四郎記念研究奨励事業報告』（農政調査委員会）
- 『農業総合研究』（農業総合研究所）
- 『農林水産政策研究』（農林水産政策研究センター）
- 『アジア経済』（アジア経済研究所）
- 『農耕の技術と文化』（農耕文化研究振興会）
- 『協同組合奨励研究報告』（全国農業協同組合中央会）
- 水産工学系で論文 I にカウントする Proceedings
- 『International Society of Offshore and Polar Engineering (ISOPE)』
- 『Coastal Engineering』

- ・ A, B, C, D以外の学術雑誌については、社会科学系に限り、次の①～④を記載した書類と、それらが確認できる資料を、推薦書類とともに提出してください。また、外国人教員の日本語・英語以外の言語で書かれた社会科学系の論文の場合も、同様の手続きを取ってください。
  - ①学会員数
  - ②総会又はこれに準ずるものの開催状況（年会の開催回数）
  - ③発行状況（年間の発行回数、年間の論文数）
  - ④編集の体制（編集委員会の有無、査読制度の有無、会員以外の投稿の可否、論文の採択率）
- ・ 雑誌名の後ろに巻、号、頁数を記載してください。
- ・ 雑誌名の最後に、該当する学術雑誌の分類（A～D）を（ ）書きで記載してください。複数に該当する場合も、Aから順に確認し、ひとつのみ記載してください。
- ・ 新たに代議委員会の審査を受ける社会科学系の学術雑誌及び社会科学系の外国人教員の「日本語・英語」以外の論文は（E）と記載してください。
- ・ 社会科学系について論文Iに取り扱う個別報告論文については、学術雑誌の分類（A～D）ではなく（個別報告論文）と記載してください。
- ・ 「論文I」に記載する情報は次のとおりです。
  - 1) 論文番号
    - ・ 古い順に通し番号をつけてください。
  - 2) 著者名
    - ・ 共著の学術論文については、著者全員を記載してください。なお、単著・共著に関わらず申請者氏名にアンダーラインを引いてください。
  - 3) 発行年(西暦表記)
    - ・ 最近5年間＝[2018年7月から2023年6月まで]の業績は、発行年月を明記してください。オンラインのものはその旨明記してください。
  - 4) 論文名
    - ・ 日本語又は英語表記としてください。社会科学系の外国人教員のその他の言語で書かれた論文の場合は、原文を書いた上で和訳又は英訳を（ ）書きで記載してください。
    - ・ 生物の学名及び化学物質名をイタリック体、アンダーラインで区別する必要はありません。また、ギリシャ文字等は英語表現に直しても直さなくても構いません。
  - 5) 雑誌名
    - ・ フルタイトルとし、いっさい省略しないでください。
    - ・ 雑誌名に相当する単行本の書名についても省略せず、編集者等を明記してください。
    - ・ 雑誌名が変更の場合は、申請時の雑誌名を記載した後、現雑誌名を（ ）書きで記載してください。
    - ・ 和文と英文の雑誌名がある場合は、両雑誌名を併記してください。なお、記載順は問いません。
    - ・ 巻、号：開始頁－終了頁を記載してください。
    - ・ 学術雑誌の分類（A～D）、（個別報告論文）又は（Proceedings）と（ ）書きで記載してください。
  - 6) 発行機関名
  - 7) DOI 番号（あればお書きください）

- 短報などの Full paper 以外の論文を含む場合の取り扱い（申合せより抜粋）
  - ①「論文 I に相当する理由書（様式任意）」を論文毎に添付すること。
  - ②教員資格審査委員会で、前項の理由書と当該論文の内容等を精査し、代議委員会において論文 I 相当であるかどうかを決定する。
  - ③上記で認められる Full paper 以外の論文については、主指導教員資格にあつては 3 編まで、副指導教員資格にあつては 2 編までとする。
  
- 社会科学系の「著書」の記載等について
  - ・ 著書をリストできるのは社会科学系のみです。
  - ・ 「著書」に記載する情報は次のとおりです。
    - 1) 著書番号
      - ・ 古い順に通し番号をつけてください。
    - 2) 著者名（編集者・監修者等）
      - ・ 共著の場合は、著者全員を記入してください。単著、共著に関わらず、申請者氏名にアンダーラインを引いてください。
    - 3) 発行年(西暦表記)
      - ・ 最近 5 年間＝[2018 年 7 月から 2023 年 6 月まで]の業績は、発行年月を明記してください。
    - 4) 書名（シリーズタイトル、巻）
      - ・ 日本語又は英語表記としてください。社会科学系の外国人教員のその他の言語で書かれた論文の場合は、原文を書いた上で和訳又は英訳を（ ）書きで記載してください。
      - ・ 生物の学名及び化学物質名をイタリック体、アンダーラインで区別しなくても構いません。また、ギリシャ文字等は英語表現に直しても直さなくても構いません。
      - ・ 単著か共著か分担執筆かを（ ）書きで明記してください。
      - ・ 共著及び分担執筆の場合は、申請者の執筆部分の題名及び開始頁－終了頁を明記してください。

◆ 職務調書（別記様式第 4 号）

「2 所属大学で上記以外に（大学院又は他学部等で）担当する学科目」、「3 所属大学以外で担当する学科目」に該当がない場合は、「無し」と記載してください。

◆ チェックリスト

チェックリストに沿って、提出書類に不備がないかご確認ください。

◆ 特任教員

HP (<https://homeugs.agri.kagoshima-u.ac.jp/faculty-members/examination/>) に記載の、「鹿児島大学大学院連合農学研究科における研究科教員の特例に関する申合せ」を参照してください。なお、資格を取得した場合、自身の所属大学以外の大学に所属する学生に「第二副指導教員」として指導が可能であることにご留意ください。

また、教員資格審査の書類とは別に下記の書類も提出してください。

- 1 構成研究科（修士課程）の授業及び研究指導を担当する資格を有することが確認できる書類
- 2 学生への研究指導期間が 3 年以上（特任教員の雇用更新予定期間を含む。）あることが確認できる書類